

5 教科 CAN-DO リスト < 各教科別 >

選抜・・・平成 26 年度以降入学選抜特進及び一貫選抜
 プロ・・・平成 26 年度以降入学プロセス
 アス・・・アスリート

| ■ 国語科 | |
|-----------|--|
| 中 1 | 1. 論説文…段落ごとの要約とつながりを中心にした読解ができる。 2. 小説…きっかけ→心情→行動という読解パターンが理解できる。 3. 作文…映像と共通課題の読書を通じて、感じたことを具体化できる (600 字から 800 字の作文)。 4. 話す…自己PRを通じて、言葉で伝えることができる。 5. 要約学習…さまざまな社会問題の課題文を要約することができる。 6. 親しみやすい古文の読解ができる。 7. 国文法 (文の成り立ち・動詞) の理解ができる。 8. 語彙 (高校入試レベルの漢字の書き取り・読み) が理解できる。 9. 書 表現 (漢字仮名交じり書) できる。 |
| 中 2 | 1. 論説文：全体の構成が理解できる。 2. 小説：時間の推移と場所・環境の変化と心情の関わりについて考察することができる。 3. 作文：映像と共通課題の読書を通じて、事前のメモ取りや構成を考えた作文の作成 (800 字から 1200 字の作文) ができる。 4. 話す：情報交換及びその発表ができる。 5. 要約学習：さまざまな社会問題の課題文を要約することができる。 6. 基本語句の使い方、古典文法にふれ、古文 (随筆、説話) が読解できる。 7. 漢文の基本 (熟語の構造・文の構造・訓読法) が理解できる。 8. 国文法 (用言・付属語) の理解ができる。 9. 語彙力 (書き取り・読み) を定着することができる。 10. 書 表現 (漢字仮名交じり書) できる。 |
| 中 3 | 1. 論説文：言語・文化・自然科学などの分野、個々の特徴と基本的な論理が理解できる。 2. 小説：文学作品と時代や社会の関係が理解できる。慣用表現、修辞法が理解できる。 3. 作文：映像と共通課題の読書を通じて、レポート・小論文に取り組むことができる。 4. 話す：プレゼンテーションなどをおこない、主張を簡潔に明確に伝え、会話の重要性を理解することができる。 5. 要約学習：さまざまな社会問題の課題文を要約することができる。 6. 古文 (百人一首による学習—和歌と短歌の差異を理解するとともに、助動詞を中心にした古典文法が理解できる)。 7. 漢文の基本 (再読文字・置き字) が理解できる。漢詩が理解できる。 8. 国文法を理解し、語感を磨き語彙 (書き取り・読み) を豊かにすることができる。 9. 書 表現 (漢字仮名交じり書) できる。 |
| 選抜 高 1 | [現代文]：論理力を徹底的に鍛える。 1. 文の構造の理解と言葉のつながりと規則性を理解することができる。 2. 心情把握のための客観的な読解ができる。文学史 (明治) [古文]：助動詞・助詞を中心にした基本文法の定着をはかる。 1. 説話・歌物語などの単文による、古文単語の基本 100～150 個程度を覚える。 2. 主語の見極めを中心に古典常識・文学史 (上古～中世) 慣用表現が理解できる。 [漢文]：句形 (否定形・受動形・疑問・反語形を中心に) が理解できる。 [表現]：小論 1. 課題文全体の論理構造を理解し、特定の字数により要約することができる。 2. レポート作成に取り組むことができる。 話す 大学進学をふまえて、進路学習と一体化させた自己PRの作成と発表ができる。 |

| | |
|-------------------|--|
| <p>選抜 高 2</p> | <p>[現代文]：論理力を徹底的に鍛える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抽象と具体の関係，イコールと対立の関係が理解できる。 2. 現代社会の基本的な考え方（近代化・情報化・ポストモダンなど）が理解できる。 3. 小説の表現・描写・語句，文学史の利用と論説文との関連が理解できる。文学史（大正） <p>[古文]：王朝物語文学を読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古文の文章に読み慣れている。 2. 敬語の理解と識別問題の解法が理解できる。 3. 古文単語を 300 以上覚える。文学史（近世） <p>[漢文]：文章を読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 句形（比較・仮定形など）を理解できる。 2. 語彙が理解できる。 <p>[表現]：小論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ型と資料課題の取り扱い方のちがいが理解できる。 2. 作文の構成と論理構造の関係，現代文学習の必要性が理解できる。 <p>話す 志望理由書の作成と発表を通じて，根拠と主張の関連性が理解できる。</p> |
| <p>選抜 高 3</p> | <p>入試問題演習を通じた，総合力の強化（センター・国公立二次対策，難関私立対策）</p> <p>[現代文]：速読速解ができる。</p> <p>評論の読解：速読速解ができる。対比関係が理解できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設問をみて，どういうところをきいているかをチェックすることができる。 2. 文章を強弱をつけて読み，各段落の大意をつかむことができる。 3. 傍線部に関する設問を読み，該当部分を注意深く読むことができる。 4. 設問を解くことができる。 <p>小説の読解：心情問題の決め手は語彙力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小説特有の語彙力（慣用表現や少し古めの表現）が理解できる。 2. 感情移入せず客観的に読むことができる。 主観の入る心情に着目する前に，本文に書かれている客観的事実や言葉の意味に注目する。 3. 解答を導く正しい手続きのプロセスを身につける。 誤答は解説を読み，納得するまで徹底的に検証し，正しい現代文の解き方のフォームを身につける。 <p>[古文]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単語力が身についている。 単語の語源や漢字をどう充てるかも覚える手助けになる。 実際の古文の読解の中で仕える形として覚える。 2. 文法力が身についている。 重要なポイントとして，覚えないと理解できない部分がある。 助動詞（意味と活用形の接続）をマスターしている。敬語（種類・経緯の対象）が理解できる。 3. 読解力が身についている。 数多くの古文を読むしかない。 4. 記述力が身についている。 <p>[漢文]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 句形が身についている。 2. 語彙が身についている。 3. 読解力が身についている。 4. 記述力が身についている。 |

| | |
|-----------|---|
| プロ 高 1 | <p>[現代文]: 論理力を徹底的に鍛える。</p> <p>1. 文の構造の理解と言葉のつながりと規則性を理解することができる。 2. 心情把握のための客観的な読解ができる。文学史(明治)</p> <p>[古文]: 助動詞・助詞を中心にした基本文法の定着をはかる。</p> <p>1. 説話・歌物語などの単文による, 古文単語の基本 100~150 個程度を覚える。2. 主語の見極めを中心に古典常識・文学史(上古~中世) 慣用表現が理解できる。</p> <p>[漢文]: 句形(否定形・受動形・疑問・反語形を中心に) が理解できる。</p> <p>[表現]: 小論</p> <p>1. 課題文全体の論理構造を理解し, 特定の字数により要約することができる。 2. レポート作成に取り組むことができる。</p> <p>話す 大学進学をふまえて, 進路学習と一体化させた自己PRの作成と発表ができる。</p> |
| プロ 高 2 | <p>[現代文]: 論理力を徹底的に鍛える。</p> <p>1. 抽象と具体の関係, イコールと対立の関係が理解できる。 2. 現代社会の基本的な考え方(近代化・情報化・ポストモダンなど) が理解できる。</p> <p>3. 小説の表現・描写・語句, 文学史の利用と論説文との関連が理解できる。文学史(大正)</p> <p>[古文]: 王朝物語文学を読む。</p> <p>1. 敬語の理解と識別問題の解法が理解できる。 2. 古文単語を 300 以上覚える。文学史(近世)</p> <p>[漢文]: 句形(比較・仮定形など) を理解できる。</p> <p>[表現]: 小論</p> <p>1. テーマ型と資料課題の取り扱い方のちがいが理解できる。 2. 作文の構成と論理構造の関係, 現代文学の必要性が理解できる。</p> <p>話す 志望理由書の作成と発表を通じて, 根拠と主張の関連性が理解できる。</p> |
| プロ 高 3 | <p>1. 国語で読み・書き・聞く・話す力, 理解する力・思考する力・感受する心・表現する力が身についた(国語におけるコミュニケーション能力)。</p> <p>2. 国語で表現された言語文化を受容することができ, 継承・発展させることができる(国語を通しての文化・教養の習得)。</p> <p>3. 高度な読書ができ, レポート作成等ができる(国語力の養成)。</p> |
| アス 高 1 | <p>1. 目的や場に応じて, 効果的に話したり的確に聞き取ったりすることができる。</p> <p>2. 文や文章の組み立て, 語句の意味, 用法及び表記の仕方などを理解し, 語彙を豊かにすることができる。</p> <p>3. 常用漢字を読むことができ, 概ねの漢字について書くことができ, 意味が理解できる。</p> <p>4. いわゆる「教育漢字」の読み書きができ, 意味をふまえて使うことができる。</p> |
| アス 高 2 | <p>1. 相手や目的に応じて, 紹介, 連絡, 依頼などのための話をしたり文章を書いたりすることができる。</p> <p>2. 文や文章の組み立て, 語句の意味, 用法及び表記の仕方などを理解し, 語彙を豊かにすることができる。</p> <p>3. 常用漢字を読むことができ, 概ねの漢字について書くことができ, 意味が理解できる。</p> <p>4. いわゆる「教育漢字」の読み書きができ, 意味をふまえて使うことができる。</p> |
| アス 高 3 | <p>1. 口語のきまり, 言葉遣い, 敬語の用法などが理解できる。 2. 文章特有の表現を味わったり, 語句の用いられ方について理解を深めたりすることができる。</p> <p>3. 自己の表現や推敲に役立てることができる。 4. 常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字が書ける。</p> |

| ■ 社会科 | |
|-----------|---|
| 中 1 | <p>[地理分野] 「関心・意欲・態度」→関意態 「思考・判断・表現」→思判表 「資料活用の技能」→資 料 「知識・理解」→知 理</p> <p>関意態：地理的なことがらに興味を持ち、意欲的に地理学習に取り組むことができる。</p> <p>思判表：歴史的背景をふまえて地理的なことがらについて考えることができる。自然環境と人々の営みを関連づけて考察することができる。</p> <p>資 料：資料をもとに、グラフや地図に表すことができる。グラフや地図から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>知 理：地理に関する知識を身に付けることができる。</p> |
| 中 2 | <p>[歴史分野] 「関心・意欲・態度」→関意態 「思考・判断・表現」→思判表 「資料活用の技能」→資 料 「知識・理解」→知 理</p> <p>関意態：歴史的なことがらに興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができる。</p> <p>思判表：歴史用語・人物名を正しく書ける。歴史のことがらの原因やその過程を理解し、後の時代に与えた影響や結果について説明することができる。</p> <p>資 料：資料(図やグラフ)の示す内容を正確に読み取れる。</p> <p>知 理：歴史に関する知識を身に付けることができる。</p> |
| 中 3 | <p>[公民分野] 「関心・意欲・態度」→関意態 「思考・判断・表現」→思判表 「資料活用の技能」→資 料 「知識・理解」→知 理</p> <p>関意態：公民的なことがらに興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>思判表：社会のしくみを地理的・歴史的背景から考え、説明することができる。</p> <p>資 料：資料や統計が示す内容を読み取り、その原因と結果を見つけ出すことができる。</p> <p>知 理：日本や世界の政治経済のしくみについて理解することができる。</p> |
| 選抜 高 1 | <p>[政治経済]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活との関わりに興味関心をもち意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 現代社会の変化や諸問題に注意を向けることができる。 3. 学習したことを、筋道だて簡潔にまとめ、発表することができる。 4. 現代社会を、地理的・歴史的事象との関係性に注意して考えることができる。 5. 資料や統計が示す内容を読み取り、その原因と結果を見つけ出すことができる。 6. メディアから必要な情報を判別し、有効活用することができる。 7. 現代社会において、さまざまなルールの中で生活していることを理解することができる。 |

| | |
|------------------|--|
| | <p>[世界史A]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 原因、過程、結果を適切に説明することができる。 3. 日本の歴史や地理的要素(位置や環境)と関連して考えることができる。 4. 資料を活用して学習することができる。 5. 学んだ事柄を年表にしたり、まとめることができる。 6. 世界史に関する知識を身に付けることができる。 |
| <p>選抜 高2</p> | <p>[日本史B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 歴史的事項の原因、過程、結果を説明することができる。 3. 歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて考察することができる。 4. 遺跡や遺物、文書など歴史資料が示している内容を読み取ることができる。 5. 日本史に関する知識を身に付けることができる。 <p>[世界史B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 原因、過程、結果を適切に説明することができる。 3. 日本の歴史や地理的要素(位置や環境)と関連して考えることができる。 4. 資料を活用して学習することができる。 5. 学んだ事柄を年表にしたり、まとめることができる。 6. 世界史に関する知識を身に付けることができる。 <p>[日本史A]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 歴史事象の原因、過程、結果を説明することができる。 3. 歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて考察することができる。 4. 遺跡や遺物、文書など歴史資料が示している内容を読み取ることができる。 5. 日本史に関する知識を身に付けることができる。 <p>[地理B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 地理的事象の課題を見つけることができる。 3. 分野別に考えたり、歴史的背景を踏まえて地域ごとに考えたりすることができる。 4. 国際社会の変化を踏まえて、その過程や結果を適切に説明することができる。 5. 様々な資料を収集し、必要な情報を選択して、読み取ったり図表などで表したりすることができる。 6. 基本的な地理的事象を理解し、その知識を身に付けることができる。 |

| | |
|------------------|--|
| | <p>[地歴演習(日本史)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明確な目標をもって、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 様々な資料を活用し、問題を解くことができる。 3. 歴史的事象の基本的な内容、知識を身に付けることができる。 <p>[地歴演習(世界史)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 原因、過程、結果を適切に説明することができる。 3. 日本の歴史や地理的要素(位置や環境)と関連して考えることができる。 4. 資料を活用して学習することができる。 5. 学んだ事柄を年表にしたり、まとめたりしている。 6. 世界史に関する知識を身に付けることができる。 <p>[倫理]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 様々なものの見方や考え方があることに興味関心をもつことができる。 2. 自分の在り方生き方を考えることができる。 3. 先人の考え方を比較し、共通点や相違点を説明することができる。 4. 学習内容を用いて、身近な問題について議論することができる。 5. 学習内容を筋道だて説明することができる。 6. 自分を見つめるための材料として諸資料を活用することができる。 7. ものの見方考え方を様々な角度から理解することができる。 |
| <p>選抜 高3</p> | <p>[日本史B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 歴史的事項の原因、過程、結果を説明することができる。 3. 歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて考察することができる。 4. 遺跡や遺物、文書など歴史資料が示している内容を読み取ることができる。 5. 日本史に関する知識を身に付けることができる。 <p>[世界史B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 原因、過程、結果を適切に説明することができる。 3. 日本の歴史や地理的要素(位置や環境)と関連して考えることができる。 4. 資料を活用して学習することができる。 5. 学んだ事柄を年表にしたり、まとめることができる。 6. 世界史に関する知識を身に付けることができる。 |

| | |
|-------------------|---|
| | <p>[政経倫理]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活との関連性に興味関心をもち意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 国内外問わず現代社会の変化や諸問題に注意を向けている。 3. 学習したことを、論理的かつ簡潔にまとめ、発表することができる。 4. 現代社会を、地理的・歴史的事象との関係性に注意して考えることができる。 5. 社会の出来事の因果関係を、用語を使って説明することができる。 6. 資料や統計が示す内容を読み取り、その原因と結果を見つけ出すことができる。 7. メディアから必要な情報を判別し、有効活用することができる。 8. 現代社会において、さまざまな社会規範の中で生活していることを理解することができる。 9. 様々なものの見方や考え方があることに興味関心を高めることができる。 10. 自己の在り方生き方を模索できる。 11. 様々な先人の考え方を比較し、共通点や相違点を説明することができる。 12. 学習内容を用いて、身近な問題について議論することができる。 13. 学習内容を論理的に説明することができる。 14. 諸資料を、自己形成のための材料として活用することができる。 15. ものの見方考え方を多角的に理解することができる。 <p>[社会演習(公民)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明確な目標を持って、学習に取り組むことができる。 2. 意欲的に反復学習ができる。 3. 問題文の意図を理解し、解答を導き出すことができる。 4. 学習内容の確認のために、多くの資料を活用することができる。 5. 公民的事象の基本的な内容・知識を身に付けることができる。 <p>[社会演習(地理)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明確な目標を持って、学習に取り組むことができる。 2. 意欲的に反復学習ができる。 3. 問題文の意図を理解し、解答を導き出すことができる。 4. 学習内容の確認のために、多くの資料を活用することができる。 5. 地理的事象の基本的な内容・知識を身に付けることができる。 |
| <p>プロ 高 1</p> | <p>[世界史 A]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 原因、過程、結果を適切に説明することができる。 3. 日本の歴史や地理的要素(位置や環境)と関連して考えることができる。 4. 資料を活用して学習することができる。 5. 学んだ事柄を年表にしたり、まとめることができる。 6. 世界史に関する知識を身に付けることができる。 |

| | |
|-------------------|---|
| <p>プロ 高 2</p> | <p>[日本史B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本史に対する関心を持ち、積極的に授業に取り組み、課題を意欲的に追求できる。 2. 国際的環境と関連させて歴史事象の原因、過程、結果を説明することができる。 3. 歴史的事実を国際的環境などに踏まえ、公正に判断することができる。 4. 遺跡や遺物、文書など歴史資料が示している内容を読み取ることができる。 <p>[地理B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 地理的事象の課題を見つけることができる。 3. 分野別に考えたり、歴史的背景を踏まえて地域ごとに考えたりすることができる。 4. 国際社会の変化を踏まえて、その過程や結果を適切に説明することができる。 5. 様々な資料を収集し、必要な情報を選択して、読み取ったり図表などで表したりすることができる。 6. 基本的な地理的事象を理解し、その知識を身に付けることができる。 |
| <p>プロ 高 3</p> | <p>[日本史B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本史に対する関心を持ち、積極的に授業に取り組み、課題を意欲的に追求できる。 2. 国際的環境と関連させて歴史事象の原因、過程、結果を説明することができる。 3. 歴史的事実を国際的環境などを踏まえ、公正に判断することができる。 4. 資料とその時代背景・国際的環境を理解することができる。 <p>[地理A]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 地理的事象の課題を見つけることができる。 3. 分野別に考えたり、歴史的背景を踏まえて地域ごとに考えたりすることができる。 4. 国際社会の変化を踏まえて、その過程や結果を適切に説明することができる。 5. 様々な資料を収集し、必要な情報を選択して、読み取ったり図表などで表したりすることができる。 6. 基本的な地理的事象を理解し、その知識を身に付けることができる。 <p>[地理B]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 地理的事象の課題を見つけることができる。 3. 分野別に考えたり、歴史的背景を踏まえて地域ごとに考えたりすることができる。 4. 国際社会の変化を踏まえて、その過程や結果を適切に説明することができる。 5. 様々な資料を収集し、必要な情報を選択して、読み取ったり図表などで表したりすることができる。 6. 基本的な地理的事象を理解し、その知識を身に付けることができる。 |

| | |
|-----------|---|
| | <p>[現代社会]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会の諸問題の解決策を考えことができる。 2. 日常生活との関わりに興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 3. 国際社会に目を向け、幅広く物事を考えることができる。 4. 学習したことを、筋道だて簡潔に文章にまとめたり発表したりすることができる。 5. 現代社会を、地理的・歴史的事象との関係性に注意して理解することができる。 6. 資料や統計が示す内容を読み取り、その原因と結果を見つけ出すことができる。 7. メディアから必要な情報を判別し、有効活用することができる。 8. 社会の仕組みを捉えることができる。 9. さまざまなルールの中で生活していることを理解することができる。 10. 学習内容を踏まえ、自分の生き方在り方について考えることができる。 <p>[現代を学ぶ]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会に起こる様々な事柄に興味・関心を持ち、自ら問題を発見することができる。 2. 問題の解決のために、自分がどのように社会に携わっていくかを模索することができる。 3. 科学的にもものを見て論理的に考えるとともに、社会に対する疑問や矛盾を感じることができる。 4. 新聞の記事や文章を読んだりニュースを聞いたりして、その要旨を要約することができる。 5. 自分の考えを論理的に裏付けるために必要な情報を収集・分析・活用することができる。 6. 社会のありようを体系的・総合的に捉えることができる。 7. 調査・研究の方法を身に付けることができる。 8. 読む力・書く力・聞く力を身に付けることができる。 9. リテラシーの力を身に付けることができる。 |
| アス 高 1 | <p>[現代社会]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会の諸問題の解決策を考えることができる。 2. 日常生活との関わりに興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 3. 国際社会に目を向け、幅広く物事を考えることができる。 4. 学習したことを、筋道だて簡潔に文章にまとめたり発表したりすることができる。 5. 現代社会を、地理的・歴史的事象との関係性に注意して理解することができる。 6. 資料や統計が示す内容を読み取り、その原因と結果を見つけ出すことができる。 7. メディアから必要な情報を判別し、有効活用することができる。 8. 社会の仕組みを捉えることができる。 9. さまざまなルールの中で生活していることを理解することができる。 10. 学習内容を踏まえ、自分の生き方在り方について考えることができる。 |
| アス 高 2 | <p>[日本史A]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 歴史的事項の原因、過程、結果を説明することができる。 3. 歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて考察することができる。 4. 遺跡や遺物、文書など歴史資料が示している内容を読み取るすることができる。 5. 日本史に関する知識を身に付けることができる。 |

| | |
|-----------|---|
| | <p>[世界史 A]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界史に対する関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる。 2. 原因、過程、結果を適切に説明することができる。 3. 日本の歴史や地理的要素(位置や環境)と関連して考えることができる。 4. 資料を活用して学習することができる。 5. 学んだ事柄を年表にしたり、まとめることができる。 6. 世界史に関する知識が身に付いている。 |
| アス 高 3 | <p>[現代を学ぶ]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会に起こる様々な事柄に興味・関心をもち、自ら問題を発見することができる。 2. 問題の解決のために、自分がどのように社会に携わっていくかを模索することができる。 3. 科学的にもものを見て論理的に考えるとともに、社会に対する疑問や矛盾を感じることができる。 4. 新聞の記事や文章を読んだりニュースを聞いたりして、その要旨を要約することができる。 5. 自分の考えを論理的に裏付けるために必要な情報を収集・分析・活用することができる。 6. 社会のありようを体系的・総合的に捉えることができる。 7. 調査・研究の方法を身に付けることができる。 8. 読む力・書く力・聞く力を身に付けることができる。 9. リテラシーの力を身に付けることができる。 |

| ■ 数学科 | |
|-----------|---|
| 中 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 速く正確な計算力が身に付いている。 2. ノートを工夫して、自分だけの参考書を作ることができる。 3. 問題文を正確に読み取り、正しく効率的に正解への道筋を見つけ出す力が身に付いている。 |
| 中 2 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字を用いた式を、目的に応じて計算・変形することができる。 2. 図形の性質を確かめ、論理的に考察し表現することができる。 3. いろいろな事象を関数的にとらえ、その特徴を調べることができる。 |
| 中 3 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題の答えを簡潔にまとめて答案を作成することができる。 2. 難問に挑戦することによって、発想力を高めることができる。 3. 他の人に対して、自分の考えを説明することができる。 |
| 選抜 高 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各単元の基本・応用事項の必要性とその意味をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 2. 途中式をしっかり書き、自分の考えを伝えることができる。(中学から高校への移行) 3. 本質を捉え(なぜ場合分けが必要なのか等)、じっくり考えることができる。 |
| 選抜 高 2 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 公式が成り立つ理由、またその必要性和意味を理解し、説明することができる。 2. 多岐にわたる内容(ⅡB)に対して、演習問題を解くことで本質を捉えることができる。 3. 記述模試等白紙の解答用紙の中で、自分の考えを的確に伝えることができる。 |
| 選抜 高 3 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校2年生までに身につけた知識・考え方を活用して、問題に対して様々なアプローチを試み、効率よい解法を見いだすことができる。 2. センター試験の問題を熟知し、出題者の意図を素早く理解して正解を導くことができる。 3. 志望大学の出題傾向・ボーダーをしっかり把握し、その対策をたてている。 <p>「理系」数学ⅠAⅡBで習得した知識・考え方を、数学Ⅲでさらに発展させ、真理を追求することができる。</p> |
| プロ 高 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各単元の基本事項の必要性と意味をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 2. 途中式をしっかり書き、自分の考えを伝えることができる。(中学から高校への移行) |

| | |
|-----------|---|
| プロ 高 2 | 「文系」 1. 各単元の基本事項をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 2. 数学的な考え方は、龍谷大学入学後も必要であるという認識がある。 「理系」 1. 各単元の基本・応用事項をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 2. 記述問題に対して、自分の考えを答案にすることができる。 |
| プロ 高 3 | 「龍谷大学理系」 1. 高校2年生までに身につけた知識・考え方を活用して、基本問題を確実に解くことができる。 2. 龍谷大学理工学部での先生方の授業をしっかり理解し、大学的な物の見方を身につけることができる。 |
| アス 高 1 | 1. 基本的な計算力が身についている。 2. 各単元の基礎事項をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 |
| アス 高 2 | 1. 基本的な計算力が身についている。 2. 各単元の基礎事項をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 |
| アス 高 3 | 1. 基本的な計算力が身についている。 2. 各単元の基礎事項をしっかり理解し、繰り返し復習することによって、知識を定着することができる。 3. 数学的な考え方・内容は、卒業後も必要であるという認識がある。 |

| | |
|------|---|
| ■ 理科 | |
| 中 1 | [理科1分野] 1. 光や音の規則性、力の性質、身のまわりの物質について科学的に理解し、説明することができる。 2. 観察及び実験の結果を分析し、科学的な考察ができる。 3. 科学技術の発展と人間生活とが密接にかかわりを持っていることを認識できる。 [理科2分野] 1. 植物の生活や大地の成り立ちと変化について科学的に理解し、説明することができる。 2. 観察及び実験の結果を分析し、科学的な考察ができる。 3. 自然環境の保全と科学技術の利用について、自分の考えを述べることができる。 |
| 中 2 | [理科1分野] 1. 電流や化学変化について科学的に理解し、説明することができる。 2. 観察及び実験の結果を分析し、科学的な考察ができる。 3. 科学技術の発展と人間生活とが密接にかかわりを持っていることを認識できる。 [理科2分野] 1. 動物の生活や気象とその変化について科学的に理解し、説明することができる。 2. 観察及び実験の結果を分析し、科学的な考察ができる。 3. 自然環境の保全と科学技術の利用について、自分の考えを述べることができる。 |
| 中 3 | [理科1分野] 1. 運動とエネルギーや化学変化とイオンについて科学的に理解し、説明することができる。 2. 観察及び実験の結果を分析し、科学的な考察ができる。 |

| | |
|------------------|--|
| | <p>3. 科学技術の発展と人間生活とが密接にかかわりを持っていることを認識できる。</p> <p>[理科2分野]</p> <p>1. 生命や地球と宇宙の現象について科学的に理解し、説明することができる。</p> <p>2. 観察及び実験の結果を分析し、科学的な考察ができる。</p> <p>3. 自然環境の保全と科学技術の利用について、自分の考えを述べることができる。</p> |
| <p>選抜 高1</p> | <p>[化学基礎]</p> <p>1. 身のまわりの物質について、興味・関心を持つことができる。</p> <p>2. 身のまわりの物質の分離や性質について理解することができる。</p> <p>3. 原子の構造を理解し、化学結合と物質の性質との関係づけがしっかりできる。</p> <p>4. 物質の概念を理解し、化学反応の量的な取り扱いができる。</p> <p>5. 中和反応や酸化還元反応に関する変化について理解し、探求することができる。</p> <p>[生物基礎]</p> <p>1. 生物の特徴…「生物の多様性と共通性」や「生命活動に必要なエネルギーと代謝」を理解し、自らの考えを述べることができる。</p> <p>2. 遺伝子とその働き…「遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴」「DNAの複製・分配による遺伝情報の伝達」「DNAの情報に基づくタンパク質の合成」を理解し、自らの考えを述べることができる。</p> <p>3. 生物の体内環境の維持…「生物体内の環境を維持するしくみ」を理解し、「体内環境の維持と健康との関係」について、自らの考えを述べることができる。</p> <p>4. 生物の多様性と生態系…「生態系の成り立ち」を理解し、その保全の重要性について、自らの考えを述べることができる。</p> <p>5. 観察と実験…以上の内容に関連する観察・実験などを行うことにより、器具・薬品などの取り扱い方を学び、その結果を考察・探求し、自らの考えを述べることができる。</p> |
| <p>選抜 高2</p> | <p>[化学・理系]</p> <p>1. 日常生活と関連づけて物質の状態変化について理解することができる。</p> <p>2. 化学変化に伴うエネルギーの出入りや、反応速度、化学平衡について理解することができる。</p> <p>[物理基礎・文系]</p> <p>1. 力と運動、エネルギー、波、電気についての基本的な知識を身につけ、理解することができる。</p> <p>2. これらの基本的な知識をもとにして、身の回りの自然現象を科学的に理解し、探求することができる。</p> <p>3. 自然環境と人間生活とのかかわりを正しく理解し、人類の未来の正しい方向を考えることができる。</p> <p>[物理基礎・理系]</p> <p>1. 力と運動、エネルギー、波、電気についての基本的な知識を身につけ、理解することができる。</p> <p>2. 平面内の力と運動についての基本的な知識を身につけ、理解することができる。</p> <p>3. これらの基本的な知識をもとにして、身の回りの自然現象を科学的に理解し、探求することができる。</p> <p>4. 自然環境と人間生活とのかかわりを正しく理解し、人類の未来の正しい方向を考えることができる。</p> <p>[物理・理系]</p> <p>1. 剛体、運動量、円運動、熱、波についての基本的な知識が身についている。</p> |

| | |
|------------------|--|
| | <p>2. 剛体，運動量，円運動，熱，波についての問題を理解し，その状況をイメージできる。</p> <p>3. 剛体，運動量，円運動，熱，波についての基礎的知識・原理が，日常生活とどのように関係しているかを理解できる。</p> <p>[生物]</p> <p>1. 生命現象と物質…「生命現象を支える物質であるタンパク質や核酸などの物質のはたらき」を理解し，生命現象を分子レベルで考え，自らの意見を述べることができる。</p> <p>2. 生殖と発生…生物の生殖や発生について，動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解し，自らの意見を述べることができる。</p> <p>3. 観察と実験…以上の内容に関連する観察・実験などを行うことにより，器具・薬品などの取り扱い方を学び，その結果を考察・探求し，自らの考えを述べることができる。</p> |
| <p>選抜 高3</p> | <p>[化学基礎・文系]</p> <p>1. 身のまわりの物質の分離や性質について理解している。</p> <p>2. 原子の構造を理解し，化学結合と物質の性質との関係づけがしっかりできる。</p> <p>3. 物質の概念を理解し，化学反応の量的な取り扱いができる。</p> <p>4. 中和反応や酸化還元反応に関する変化について理解し，探求することができる。</p> <p>[生物基礎・文系]</p> <p>1. 復習：生物の特徴…「生物の多様性と共通性」や「生命活動に必要なエネルギーと代謝」を理解し，それを応用できる。 遺伝子とその働き…「遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴」「DNAの複製・分配による遺伝情報の伝達」「DNAの情報に基づくタンパク質の合成」を理解し，それを応用できる。 生物の体内環境の維持…「生物体内の環境を維持するしくみ」「体内環境の維持と健康との関係」を理解し，それを応用できる。 生物の多様性と生態系…「生態系の成り立ち」を理解し，その保全の重要性について認識し，それを応用できる。</p> <p>2. 演習問題：上記復習項目の演習問題で70%以上を得点することができる。</p> <p>[物理・理系]</p> <p>1. 電磁気，原子についての基本的知識が身につけている。</p> <p>2. 電磁気，原子についての問題を理解し，その状況をイメージできる。</p> <p>3. 電磁気，原子についての基礎的知識・原理が，日常生活とどのように関係しているかを理解できる。</p> <p>[化学・理系]</p> <p>1. 無機物質の性質と反応について理解し，日常生活と関連づけて考えることができる。</p> <p>2. 有機化合物の性質と反応について理解し，日常生活と関連づけて考えることができる。</p> <p>3. 高分子化合物の性質と反応について理解し，日常生活と関連づけて考えることができる。</p> <p>[生物・理系]</p> <p>1. 生物の環境応答…環境の変化への生物の反応について，生物個体が外界の変化を感知し，それに反応する仕組みを理解し，自らの意見を述べることができる。</p> <p>2. 生態と環境…生物の個体群と群集および生態系について，それらの構造や変化の仕組みを理解することができ，さらに生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識し，自らの意見を述べることができる。</p> <p>3. 生物の進化と系統…生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について理解し，進化についての考え方を身につけ，自らの意見を述べることができる。</p> |

| | |
|-----------|--|
| | 4. 演習問題上記復習項目の演習問題で70 % 以上を得点することができた。 |
| プロ 高 1 | <p>[化学基礎]</p> <ol style="list-style-type: none"> 身のまわりの物質について、興味・関心を持つことができる。 身のまわりの物質の分離や性質について理解することができる。 原子の構造を理解し、化学結合と物質の性質との関係づけがしっかりできる。 物質の概念を理解し、化学反応の量的な取り扱いができる。 中和反応や酸化還元反応に関する変化について理解し、探求することができる。 <p>[生物基礎]</p> <ol style="list-style-type: none"> 生物の特徴…「生物の多様性と共通性」や「生命活動に必要なエネルギーと代謝」を理解できる。 遺伝子とその働き…「遺伝情報を担う物質としてのDNA の特徴」「DNA の複製・分配による遺伝情報の伝達」「DNA の情報に基づくタンパク質の合成」を理解できる。 生物の体内環境の維持…「生物体内の環境を維持するしくみ」を理解し、「体内環境の維持と健康との関係」について認識することができる。 生物の多様性と生態系…「生態系の成り立ち」を理解し、その保全の重要性について認識することができる。 観察と実験… 以上の内容に関連する観察・実験などを行うことにより、器具・薬品などの取り扱い方を学び、その結果を考察・探求できる。 |
| プロ 高 2 | <p>[物理基礎・文系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 力と運動、エネルギー、波、電気についての基本的な知識を身につけ、理解することができる。 これらの基本的な知識をもとにして、身の回りの自然現象を科学的に理解し、探求することができる。 自然環境と人間生活とのかかわりを正しく理解し、人類の未来の正しい方向を考えることができる。 <p>[物理基礎・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 力と運動、エネルギー、波、電気についての基本的な知識を身につけ、理解することができる。 平面内の力と運動についての基本的な知識を身につけ、理解することができる。 これらの基本的な知識をもとにして、身の回りの自然現象を科学的に理解し、探求することができる。 自然環境と人間生活とのかかわりを正しく理解し、人類の未来の正しい方向を考えることができる。 <p>[物理・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 剛体、運動量、円運動、熱、波についての基本的知識が身についている。 剛体、運動量、円運動、熱、波についての問題を理解し、その状況をイメージできる。 剛体、運動量、円運動、熱、波についての基礎的知識・原理が、日常生活とどのように関係しているかを理解できる。 <p>[化学・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 日常生活と関連づけて物質の状態変化について理解している。 化学変化に伴うエネルギーの出入りや、反応速度、化学平衡について理解している。 |

| | |
|----------|---|
| | <p>[生物・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命現象と物質… 生命現象を支える物質であるタンパク質や核酸などの物質の働きを理解し、生命現象を分子レベルで考えることができる。 2. 生殖と発生… 生物の生殖や発生について、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解できる。 |
| プロ 高3 | <p>[物理・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電磁気，原子についての基本的知識が身についている。 2. 電磁気，原子についての問題を理解し，その状況をイメージできる。 3. 電磁気，原子についての基礎的知識・原理が生活で目にする現象とどのように関係しているか理解できる。 <p>[化学・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無機物質の性質と反応について理解し，日常生活と関連づけて考えることができる。 2. 有機化合物の性質と反応について理解し，日常生活と関連づけて考えることができる。 3. 高分子化合物の性質と反応について理解し，日常生活と関連づけて考えることができる。 <p>[生物・理系]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物の環境応答… 環境の変化への生物の反応について，生物個体が外界の変化を感知し，それに反応する仕組みを理解し，自らの意見を述べることができる。 2. 生態と環境… 生物の個体群と群集および生態系について，それらの構造や変化の仕組みを理解することができ，さらに生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識し，自らの意見を述べるができる。 3. 生物の進化と系統… 生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について理解し，進化についての考え方を身につけ，自らの意見を述べることができる。 4. 観察と実験… 以上の内容に関連する観察・実験などを行うことにより，器具・薬品などの取り扱い方を学び，その結果を考察・探求できる。 |
| アス 高1 | <p>[地学基礎]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 固体地球とその変動，大気と海洋，宇宙の構成について基礎的な知識が身についている。 2. これらの基礎的な知識をもとにして，身の回りの自然現象を科学的に理解し，探求することができる。 3. 地球の環境と人間生活とのかかわりを正しく理解し，人類の未来の正しい方向を考えることができる。 |
| アス 高2 | <p>[物理基礎]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力と運動，エネルギーについて基礎的な知識が身についている。 2. これらの基礎的な知識をもとにして，身の回りの自然現象を科学的に理解し，探求することができる。 3. 自然環境と人間生活とのかかわりを正しく理解し，人類の未来の正しい方向を考えることができる。 <p>[化学基礎]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身のまわりの物質について，興味・関心を持つことができる。 2. 身のまわりの物質の分離や性質について理解することができる。 3. 原子の構造を理解し，化学結合と物質の性質との関係づけがしっかりできる。 4. 物質の概念を理解し，化学反応の量的な取り扱いができる。 5. 中和反応や酸化還元反応に関する変化について理解し，探求することができる。 |
| アス高3 | [該当科目なし] |

| ■ 英語科 | |
|-----------|--|
| 中 1 | Phonics を一通り理解し、初見の単語をほぼ読むことができる。 Listening : 身近な事柄に関する簡単な発話を聞いて理解することができる。 Speaking : 自分のこと、自分の身の回りのことについて、かんたんな英語で説明することができる。頻度を表す副詞を用いて、典型的な一日を説明することができる。 Reading : 身近な話題に関して簡単な英語で書かれた文章を、辞書を使って、英語の語順に沿って(主語・動詞を意識して)、理解することができる。 Writing : 英語の語順に沿って、かんたんな英文を書くことができる。名詞チャンクを作り、過去の出来事について説明することができる。 |
| 中 2 | Listening : 身近な事柄に関する発話を聞いて、理解することができる。 Speaking : 自分の考えや意見、感想、希望を伝えることができる。質問に答えた後、数文付け加えることができる。 Reading : 段落を意識した読解をもとに、要点を日本語でまとめることができる。 Writing : 接続詞を使って長めの文を書くことができる。 |
| 中 3 | Listening : 相手の考えや意見に関する発話を聞いて理解することができる。 Speaking : 初見の英文を音読することができる。感情を込めてスピーチすることができる。聞いたスピーチに対して質問したり、感想を述べることができる。 Reading : 多読することができる。段落を正しく並べることができる。 Writing : 1分間程度のスピーチの原稿を書くことができる。中学3年間の思い出、卒業後の抱負についてまとめた英文を書くことができる。 |
| 選抜 高 1 | Listening : 日常生活での話題に関する発話を聞いて、概ね理解することができる。 Speaking : 興味・関心のある事柄について、自分の考えを述べるすることができる。 Reading : 簡単な説明文を理解し、図や表から情報を読み取ることができる。 Writing : 興味・関心のある事柄について、正しい文構造で簡単な英文を書くことができる。 |
| 選抜 高 2 | Listening : 日常生活での話題や簡単な説明・指示を聞いて理解することができる。 Speaking : 日常生活での出来事について説明し、用件を伝えることができる。 Reading : スキミング、スキヤニング等様々なリーディングスキルを身につけ、まとまりのある英文を理解することができる。 Writing : 日常生活での話題について、ある程度まとまりのある文章を書く。 |
| 選抜 高 3 | Listening : 日常生活での情報・説明を聞いて、まとまりのある内容を理解することができる。 Speaking : 様々な場面で、自身・自国のことなどを説明し意見を述べられる。 Reading : 社会性の高い論文等のまとまりのある英文を読み、段落ごとの簡単なまとめ(要約)ができる。 Writing : 与えられたテーマに対して段落構成を考えて、首尾一貫した文章を書くことができる。 Translation : スラッシュリーディングでインプットされた情報をそのテーマに即した語彙豊かに日本語で表現できる。 |
| プロ 高 1 | Listening : 簡単な英語をしっかりと聞き取れ反応できる。 Speaking : 簡単な英語の質問に答えられる。リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度等に注意して発音できる。 Reading : 辞書を活用して英語の語順に従って短いパッセージが読める。 Writing : 辞書を活用しながら主語・動詞を意識して簡単な英文が作れる。 |
| プロ 高 2 | Listening : 英語での質問をセンテンスレベルで聞くことができる。 Speaking : 英語での質問をセンテンスレベルで答えられる。英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。 Reading : 辞書を活用して、まとまった英文を主語・動詞の語順に沿って読み理解できる。 Writing : 辞書を活用しながら、まとまった英文を書くことができる。 |
| プロ | 日常の基本表現を理解して、簡単なやりとりをすることができる。 |

| | |
|------------|---|
| 高 3 | <p>ターゲットとなる単語や熟語を用いて、<u>語句や文レベル</u>で表現できる。</p> <p>Listening : 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら簡単な英文を聞くことができる。</p> <p>Speaking : 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながらまとまった英文で答えられる。</p> <p>Reading : 辞書を活用して、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら、まとまった英文を読み理解できる。</p> <p>Writing : 辞書を活用しながら、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えて、まとまった英文を書くことができる。</p> |
| アス 高 1 | <p>Listening : 身の回りのことに関する、簡単な英語で語られる発話を、おおまかに理解することができる。</p> <p>Speaking : 自分や自分の身の回りのことについて、簡単な英語で説明することができる。</p> <p>Reading : 身近な事柄について、簡単な英語で書かれた文章を、辞書を使って、英語の語順に沿って読んで理解することができる。</p> <p>Writing : 英語の語順に沿って、簡単な英文を書くことができる。</p> |
| ア ス 高 2 | <p>Listening : 身の回りのことに関する、簡単な英語で語られる発話から必要な情報を正確に取り出すことができる。</p> <p>Speaking : 自分や自分の身の回りのことについて、理由や条件も含めて、簡単な英語で説明することができる。</p> <p>Reading : 身近な事柄について書かれた英文を、辞書を使って、英語の語順に沿って読んで理解することができる。</p> <p>Writing : 英語の語順に沿って、簡単な英語でまとまりのある文を書くことができる。</p> |
| アス 高 3 | <p>Listening : 身の回りのことに関する、簡単な英語で語られる発話を、正確に理解することができる。</p> <p>Speaking : 自分や自分の身の回りのことについて、簡単な英語で説明することができる。</p> <p>Reading : 身近な事柄について書かれた英文を、辞書を使って、英語の語順に沿って読んで理解することができる。</p> <p>Writing : 英語の語順に沿って、英語でまとまった文を書くことができる。</p> |